

## ■ 本学主催 三条・燕地域産学交流会

本学の地域産学交流センターは、かねてより地域企業との密接な連携を願い、種々の活動を行ってきました。その一環として、平成19年9月25日(火)に、新潟県県央地域地場産業振興センターにて、三条・燕地域の企業との交流会を開催しました。この交流会は、平成17年9月に直江津で開催された上越地域産学技術交流会、平成18年2月に新潟市で開催された新潟工科大学・産学交流会連携フェアに続き、県央地域地場産業振興センター、三条商工会議所、燕商工会議所などの協力を得て、県央地域で初めて開催されました。

催しの内容は、基調講演、大学からの話題提供にはじまり、夕刻からの懇親交流会も開催されました。県央地域で初めて開催ということで、県央地域の企業の経営者や技術者の方々、商工会議所関係者など68名の方に参加いただきました。

基調講演では、株式会社ツバメックス・取締役社長・賀井治久様より「当社における開発の事例～主に3次元CAD

までの25年間の開発～」と題するご講演をいただきました。この講演は、3次元CAD/CAMシステムの開発・導入事例をご紹介いただきました。同社は、昭和46年に自動車部品用金型の製造を開始し、その後、業界初の3次元CAD/CAMシステム「CATIA」を導入し、「高精度・短納期」の実現のため、設計時間からいかにロスを無くするかを検討してきたそうです。賀井社長は、「行く行くは設計の自動化を考えている」とご講演でお話しされていました。

基調講演に引き続き、本学地域産学交流センター・宮澤センター長より大学紹介、共同研究の進め方、今後の取り組みなどに関して話題提供があり、その後、学科毎に概要や産学交流事例が紹介されました。

懇親交流会でも活発な技術交流が行われ、関係者からは再度の開催を望む声も多数いただきました。これらは本交流会が有意義であったことの証でもあり、来年度以降も県央地域における交流会を開催していく予定です。



基調講演 賀井社長



交流会の様子

## ■ 上越産業界との産学交流会を開催

本学地域産学交流センターでは、開学2年目から定期的に行っている上越産業界との交流会を平成19年11月20日(火)に本学を会場に開催し、上越地域の企業・団体から20人の参加がありました。

今回の交流会は、研究室見学を中心に、本学建築学科の穂積教授による講演会(テーマ:中越沖地震の地震動と被害の様相)を行ったほか、中越沖地震における本学の復興支援の取り組み紹介及び意見交換会を実施し、その後、懇親会を実施しました。



講演会 穂積教授